明るい大山

2010年　12月号

発　行　日本共産党大山町委員会

連絡先　大山町坊領304　大森正治

TEL(Fax兼)　53－4674

来年が希望ある年になりますように…

“山香荘”の再生・利活用は時間をかけて論議を

名和地域休養施設の

山香荘に「サッカー場」

が計画されています。

この計画は1年前、２００９年の秋に初めて議会へ提示され、予算をふくむ概要が示されたのは、今年の１１月初めでした。それに基づいて町民に説明があったのは、１１月中旬の住民説明会の場でした。

山香荘の今後のあり方や計画については、広報だいせん１２月号や町ホームページに掲載されている通りです。そこには３つの選択肢が示されています。

サッカー場計画には賛否

が分かれています。

サッカー場としての利活用には、住民説明会でも不安や疑問の声が多数出されました。議員の間でも賛否があります。１２月議会では、一般質問でこれを取り上げた議員は７名、そして、このテーマで議員討論会もしました。本格的な議論は、始まったばかりです。

このように、意見が分かれている重要な課題については、

全町的な話し合いを

時間をかけてすべきです。山香荘のあり方は、選択肢が３つだけではなくて、ほかにもあります。

行政側は3月議会に予算を上程したいとのことですが、拙速な進め方は将来に禍根を残すことになります。

もっと時間をかけた論議をしていけば、きっといい結論が出るのではないでしょうか。

住宅リフォーム助成

地域経済 活性化の決め手 大山町でも実現へ

＝経済効果は大＝

大森議員は６月議会で、住宅リフォームへの助成制度の創設を提案していました。町長は答弁の中で、この「制度は検討に値するものと考えますので、本町での制度導入についても、財政事情や公平性を勘案しつつ研究し検討していきたい」としていました。担当課の話によると、新年度からの実施に向けて作業を進めているとのことです。

この助成制度が本町で実施されると、鳥取県内では琴浦町に次いで２番目の自治体になります。

住宅リフォーム助成制度とは

個人が住宅のリフォームをする場合、町内業者への発注を条件として、リフォーム代の一部を自治体が補助するという制度。

リフォーム内容の例…屋根塗装・畳替え・床替え・風呂やトイレや台所など水回りの改修・サッシの更新等々、建築業全般。

効果…町内業者への仕事興しになり、地元経済の活性化につながる。住宅の改善を容易にし、町民に喜ばれる。

琴浦町の場合

・リフォーム工事費の１０％、上限１０万円を補助。

・09年度から開始し、今年５月まで１９１件、１３８０万円を助成。

・経済効果は３億１千万円。

住宅リフォームに二の足を踏んでいた人も、この制度によってリフォームに踏み切る。業者にも町民にも喜ばれる。

岩手県宮古市の場合

今年度４月からスタート、当初 500 件・5000 万円の予定がわずか 2 週間で 431 件の申請があり、急きょ 500 件を追加。6 月議会で、市はさらに 1500 件を追加。計 2500 件・2 億 5 千万円の予算規模に。

20 万円以上の住宅リフォームに対し、10 万円を補助するもの。補助期間は10 年 4 月から 1 年間の予定。

この制度を実施している自治体は、30 都道府県の 154 自治体です（3 月 31 日現在）。

～シリーズ　同和問題を考える～

大山町の同和対策の予算は

2010(平成 22)年度の同和対策事業とその予算は、次の通りです。

○固定資産税の減免措置・・・３４３.８１万円（５３２件）
○地区活動費補助金・・・４１０万円（3地区に１１０万～１５０万円）
（目的：部落差別解消を目指した活動を支援し、地域の自立と振興を図る）
○地域組織活動育成補助金・・・５１万円（母親クラブ　3地区に１７万円ずつ ）
○隣保館運営事業・・・３５２６万円　（人権交流センター１２３０.８万円）
（中高ふれあい文化センター１０３６.２万円 ）
（中山ふれあいセンター１２５９万円 ）
○児童館運営事業・・・１５７５万円（3児童館へ２３５万～７３２万円）
○生活相談員設置事業・・・７４８.２万円（3人分）
○老人憩いの家運営事業・・・２４.５万円
○特定新規学卒者就職促進奨励金・・・２７.５万円（１１人分）
○大山町進学奨励交付金交付事業・・・２２６.８万円
○名和地区改良区補助金・・・６.２万円
○住宅新築資金等貸付事業・・・３７０１.７万円
○地区学習会補助金・・・２４０万円（6小・中学校に４０万円ずつ）

合　計　　１億８５３.２１万円

廃止ないし縮小したい事業について、町行政は「固定資産税の減免は減らしつつある。他の事業は差別の現状と照らし合わせ、必要に応じて検討する。」と言っています。